

2014年6月27日

高機能フッ素樹脂フィルム「アフレックス®」を使用したナショナルスタジアムが シンガポール・スポーツハブに完成

AGC 旭硝子株式会社

AGC（旭硝子株式会社、本社：東京都、社長：石村和彦）は、シンガポール最大の総合スポーツ施設「シンガポール・スポーツハブ」内に完成したナショナルスタジアムに、当社の高機能フッ素樹脂フィルム「アフレックス®」が採用されたことをお知らせします。

今年6月に完成したシンガポールのナショナルスタジアムは、開閉式の屋根を持つ最新式の多目的ドームです。天井部分に0.15mm～0.25mmの軽量かつ柔軟なアフレックスを使用することで、約2万㎡の可動エリアにおける重量負荷を軽減しました。またアフレックスの高い光拡散性により、天井を利用した色鮮やかなライトアップが可能です。



シンガポール・スポーツハブ

アフレックスは、当社が原料から一貫生産している高機能フッ素樹脂をフィルム化した製品です。耐熱性・耐薬品性・非粘着性・電気特性・耐候性・透光性などの優れた特長により、エレクトロニクス、太陽電池、壁紙、グリーンハウスなどの用途に幅広く使用されています。さらに、近年は海外を中心に建築材料としても注目を集めており、ロシア・ソチのスタジアムやドイツのアリアンツ・アリーナ、そして現在2014FIFAワールドカップブラジルの試合が行われているレシフェのイタイパヴァ・アリーナ・ペルナンブコを始め、世界各地の大規模スタジアムや万博会場などに数多く採用されています。東南アジア地域では、今回のナショナルスタジアムが大型スタジアムとしては初めての採用となりました。

AGCは、長年培ったフッ素化学の技術力を活かし、これからも世界的なイベントを盛り上げていくとともに、快適な生活空間の創造に貢献していきます。

以上

◎本件お問合せ先：AGC 旭硝子(株) 広報・IR室長 小林 純一

(担当：駒崎 TEL:03-3218-5603、E-Mail:info-pr@agc.com)

■AGCグループについて

旭硝子株式会社（AGC）を中心とするAGCグループは、建築・自動車・ディスプレイ用ガラス、化学品、その他の高機能材料を世界のお客様に提供するソリューション・プロバイダーです。100年以上に渡る技術革新の歴史の中で、当社グループはガラス、フッ素化学、セラミックスなどの分野で世界トップクラスのコア技術を培ってきました。現在、グループ全体の年間売上は約1.2兆円、従業員数約5万人であり、およそ30の国や地域でグローバルに事業を展開しています。AGCグループに関する情報は、当社WEBサイト www.agc.com/ をご覧ください。

■シンガポール・スポーツハブの概要

シンガポールのカランに新たに建設された35ヘクタールの複合施設。弊社のアフレックスが採用された開閉式スタジアム（55,000人収容）に加え、アクアティック・センター（6,000人収容）、多目的インドアアリーナ（12,000人収容）、ウォータースポーツセンター等の会場の他、ショッピングモールも完備した大規模多目的施設です。

<ご参考>

■アフレックス®のナショナルスタジアムでの使用詳細

総使用面積：22,500 m²

使用箇所1：開閉式屋根の可動部分 19,100 m²

使用箇所2：ウエストプラザのひさし部分 3,400 m²

■過去の主な使用事例

- (1) ミュンヘン・サッカースタジアム “Allianz Arena”（ドイツ）
- (2) 全天候型スタジアム “Forsyth Barr Stadium”（ニュージーランド）
- (3) レシフェ・サッカースタジアム “Itaipava Arena Pernambuco”（ブラジル）

(1)



(2)



(3)



Credits: Inês Campelo/Itaipava Arena Pernambuco

©Copyright Reproduced Courtesy of Vector Foiltec